

## 7/18 kami shihoro 塾 専門講座「料理講座」開催

kami shihoro 塾の中の専門講座「町民料理講座」がふれあいプラザにて開催され、町民と生産者 22名が参加しました。

札幌でイタリア料理店を営む川端美枝さんを講師に招き、参加者はイタリア風薄焼きパンやローストビーフなど4品のワンプレート料理を作成しました。参加者は「生産者の方とお話をしながら料理ができた貴重な機会。先生に教えてもらったレシピを家庭でも作ってみたい」と話されました。



## 7/20 トランポリンと卓球で全国大会へ出場

第4回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会に出場する、上士幌中学校2年の竹内愛詩さんと、平成30年度全日本卓球選手権大会(バンビの部)に出場する上士幌小学校1年の千年澄春さんが役場を訪れ、大会への抱負を語りました。

竹内さんは「今まで練習の成果をしっかりと発揮したい」と話し、千年さんは「コーチに教えてもらったことを試合で出し切りたい」と話してくれました。

## 7/22 「かいけつゾロリ」の原ゆたかさんが講演

人気児童書シリーズ「かいけつゾロリ」の作者原ゆたかさんによる講演とワークショップが生涯学習センターわかにて行われました。

講演会には町内外から80名が参加し、「かいけつゾロリ」の誕生秘話のほか、参加者へ「挫折する機会を奪うのではなく、挫折してもゾロリのように前向きに立ち上がることが大切」と呼びかける姿が印象的でした。

また、ワークショップでは、原さんが子どもたちに語りかけながら人気キャラクターのゾロリを参加者と一緒に描いたほか、最後に行われたサイン会でも記念撮影などで盛り上がりました。



8月5日 ナイタイヒルクライム



7月20日 ビアパーティー



7月28日 こども夏まつり



## 7/12 認定こども園で食育教室

7月12日、認定こども園の年長児が食育に関する教室に参加しました。

教室では、教育委員会読書コーディネーターの阪口さんから、はちみつの絵本を読み聞かせしてもらい、十勝養蜂園の斉藤さんより蜂の巣やはちみつについてのお話を聞いた後、蜂の巣から直接はちみつをペロリ。子どもたちからは「あまーい」「おいしい」との声が聞かれました。

また、はちみつ分離体験では、装置のハンドルをクルクルまわし、蜂の巣からはちみつを取り出す作業を体験し、そのはちみつを味見しました。



7・8月の  
まちのわだい

7月25日、上士幌高校の熱気球が更新されました。赤、白、緑の球皮が青空によく映えます。



# 表敬訪問 (全道大会出場)



7/24  
第46回北海道中学校柔道大会出場  
上士幌中学校2年 五十嵐 舞桜さん



7/27  
第48回北海道中学校卓球大会出場  
上士幌中学校男女卓球部



7/30  
第39回北海道ミニバスケットボール夏季交歓大会出場  
上士幌女子ミニバスケットボール少年団



7/30  
2018北海道トレセンU-12全道少年少女選抜大会出場  
上士幌小学校6年 野々村 海玖空さん

## 7/25 夏休みこども料理教室開催

夏休み中の7月25日、毎年恒例となっている夏休みこども料理教室がふれあいプラザで開催され、小学校4年生から6年生までの6人が「いなりずし」や「肉巻き高野豆腐」など、4品の調理に挑戦しました。

普段、あまり包丁を握ったことのない参加者もいましたが、お友達同士で楽しく調理をし、おいしい料理を完成させていました。



## 7/28 起業を志す方の「起業塾(塾長(株)アルプス技研創業者松井利夫会長)」がスタート

かみしほろ塾の中の一講座「起業塾」が、7月28日と29日に行われ、起業を志す約20名の方が町内外から参加し、ワークショップや講演から創業について学びました。

ワークショップでは、グループでパスタとマシュマロを使ってタワーを作り、参加者は目的に向かって挑戦することの大切さを学びました。

講演会では、起業するにあたっての心構えなどを講師から伝えられ、参加者の意識向上を促しました。



## 8/9 松山政司内閣府特命担当大臣が来町

松山政司内閣府特命担当大臣が来町し、認定こども園を視察した後、子育て世代の町民3名と意見交換を行いました。

認定こども園では、子育て環境を視察されたほか、園児たちと触れ合う場面もありました。

その後に行われた子育て世代との意見交換会では、松山大臣から「地方における子育て施策を進めていく中で、どういったことを中心にすすめると良いか」といった質問が投げかけられ、参加者からは「町では農業などの仕事があるが、インターネットを活用した仕事も移住先でできることを首都圏に住んでいる人に伝えられれば移住はもっと促進すると思う」といった活発な意見交換が行われました。



## 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告



TITLE:介護職員初任者研修を実施します! 記:生涯活躍のまち推進員 佐藤 良彦

平成29年6月初旬から上士幌町地域おこし協力隊として東京から移住してきて2年目、平成28年8月に上士幌町と関わる仕事をしてきたことを考えると、3回目の夏を迎え、多くの方に支えられながら仕事を続けてこれました。

所属している(株)生涯活躍のまち かみしほろは昨年9月に発足したばかりの会社で、私が担当している地域包括ケアの主な業務内容は、①介護職員初任者研修②地域包括ケア充実に向けた提言③障がい者のグループホームと就労事業の検討の3本柱を中心に「地域の課題は地域で解決」「地域の弱者は地域で守る」を念頭に入れ、少しでも上士幌町民の方々が安心して暮らせるような事業を行っています。

その中でも介護職員の不足は全国的な問題であり、上士幌町でも決して充足している状況ではありません。そこで、昨年10月に介護職員初任者研修を実施し、5名の方が受講しました。介護職員初任者研修資格は、福祉の職場で仕事として生かす資格だけでなく、将来的に自分の親や祖母祖父の介護として役立てることが出来る資格です。今年度も介護職員初任者研修を10月6日に開催する予定ですので、多くの方の参加をお待ちしています。介護職員初任者研修のお申し込みは「(株)生涯活躍のまち かみしほろ ☎7-7630」までお電話ください。



▲昨年の介護職員初任者研修の様子



▲昨年の介護職員初任者研修修了式の様子

# 町民(文)芸

## 川柳

休日の予定がバラバラ分刻み  
眠い目を凝らし見上げた熱気球  
衝動で「ポチって」しまう要らぬもの

石長四  
戸嶋児  
孝の  
光昭父

## 短歌

「革命」を弾くうでの筋肉きりりとしプリンシパルと重ねて見たる  
カラフルなビーズで作るピアスタち並べて嬉しい楽しみ増えし  
刺子する直線ぬうのは楽だけど曲線縫うのはなぜか不格好  
一打多く入賞のがしたパークゴルフ緑濃き芝久々楽し  
大好きなウインナー入れて母作る週に一度の弁当楽し  
一心にビーズを通す汝の頬ほんのり上気し夏のひととき

石高米米松尾 本  
川木森森田野 間  
裕誠博真理よし 栗  
子也樹弓恵乃 風



先月、ついにマイ一眼レフカメラを購入しました。一眼レフには慣れていたつもりでしたが、あまりの多機能、高機能さに技術が追い付かず……。これからも、練習して良い写真を撮れるよう頑張ります!! (次は別売りの良いレンズが欲しいです)……M

8月は沢山のイベントが開催されましたが、やはりバルーンフェスティバルは外せません。広報担当も三日間密着させていただきました。参加チームの気球に懸ける想いは格別なものでしたね。来年もぜひ皆さんに参加してほしいものです。なお、個人的にはバルーン商店街のグルメ特集をしたかったのですが、全店舗紹介は難しく、断念しました。……T

広報 **かみしほろ** 10月号は **9月25日(火)** 発行予定

## 平成30年 7 月末現在の人口

男性	2,447人(+17人)
女性	2,573人(+8人)
人口	5,020人(+25人)
世帯数	2,546世帯(+18世帯)

## 平成30年度 ふるさと納税寄付金

7 月分	7,298 件 117,542,226 円
累計	22,421 件 335,443,826 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
※8月16日現在

# 上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 5  
平成30年  
8月24日

## TITLE: になりたい自分への道のり

7月12日(木)に2年生72名を対象にした「カタリバ」が実施されました。この行事は生徒の進路学習に対するモチベーションを向上させることを目的としており、今年度が8年目になります。生徒たちは小グループに分かれて大学生の経験談に耳を傾け、心の中の迷いや悩みを自ら語るなど意欲的に参加し、大学生との交流を通して将来への考えを深めました。

生徒たちからは「自分の長所を見つけて、もっと自分を好きになりたい。」「人生を楽しむためには苦手なことから逃げてはいけないと分かりました。」「最初から無理だと決めつけずに挑戦してみることが大切だと思いました。」「今の頑張りが自分の強さに変わる。胸を張れるように頑張ります。」などと感想が寄せられました。



上士幌高校新聞局通信

## 月刊 上高

## 高校の新聞局に入ってみて

文責 加藤 駿

北海道上士幌高等学校に入学し、新聞局に入ってから3か月が経ち、これまで色々なことがありました。初めての本格的な取材に不安でいっぱいだった高体連集約大会、かなり暑かった高野連全校応援の取材、そして、とても楽しかった学校祭など、本校の行事を次々に取材して記事を書きました。

最初の頃は緊張と不安ばかりだったけど、顧問の先生や先輩方が、わからない所や困った時に優しく教えてくれるので、すごく感謝しています。

今はもう3年生の3人が引退して新たに2年生の局長と副局長が決まり、気合を新たに動き出しています。これからも先輩方、先生方からのアドバイスを活かし、楽しく活動をしていきたいです。



△学習室で活動中の新聞局(右端が加藤です)



△8月10日にバルーンフェスティバルを取材しました